



Eジャーナルしずおか

平成27年(2015年)
1月7日
水曜日
第145号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

パンクの修理

静岡県教育委員会教育長 安倍 徹



昨年12月、浜松市出身の天野浩名古屋大学教授がノーベル物理学賞を受賞されました。まずもって、その偉業に対し、お祝いを申し上げます。

受賞が決まってから、マスコミ等を通じて天野教授について多くの報道がありました。その中で特に印象に残ったのは、自転車のパンクの修理にまつわる父親との思い出に関する記事でした。小学校時代、パンクのたびにタイヤチューブにあいた穴の周りを軽石でこするなど手際よく修理してくれた父親。その背中を眺め、「こうやれば修理できるんだ」と技術の大切さを感じ取ったということです。

天野教授のこのエピソードは、「技術の大切さ」をはじめいくつかのことを、私たちに教えてくれているように思います。

○ものを大切に

天野教授とはほぼ同年代の私も、少年時代同じような体験をしました。軽石は風呂で使っていた「お古」、パンクの穴にあてる継ぎもチューブの「お古」を切り取って使いました。そこには、生きとし生けるものの命をいただくときと同じように、「もの」を最後まで大切に使い切るという、古くから伝え教えられた精神があったように思います。

○修復する

最近修理する場面が減りました。かつては、雨傘の骨や鍋の穴の修理を生業にしている人が、定期的に来てくれました。今は修理するよりも新品を買った方が安く手取り早いこともあり、また、電子化が進む中でブラックボックス化していることもあって、そのような人を見ることは、ほとんどなくなりました。

一度パンクしたチューブを廃棄するのではなく修理して使う過程は、人間関係においても大切なことだと思います。一度仲違いしたらそれで終わりではなく、互いに歩み寄りながら、時間をかけて人間関係を修復していく。パンクした箇所がパンクする前に比べてより丈夫になるように、人間関係もまた修復する過程を通して、より強い絆でつながるようになるのだと思います。

○背中への教育

コミュニケーション能力や表現力が重要視される中、「ことば」の果たす役割は非常に大切です。しかし一方で、雄弁・多弁になり過ぎ、実像を伴わない「ことば」が多く浮遊してはいないでしょうか。

天野教授が父親の背中から学んだように、むしろ無言の「ことば」の方が説得力を持って相手の心に届く場面もあることを、忘れてはいけなと思っています。

○本県の教育

天野教授の研究への真摯(しんじ)して情熱的な姿勢、謙虚さ、温かさ、柔らかさ、ユーモアなどは、本県の教育風土が大きく影響しているのではないかと感じています。私たちは、本県の教育に自信と誇りを持ち、短期的・可視的教育成果を超越した教育のあり方を常に追い求めていく姿勢を、これからも失ってはいけなく強く思っています。

平成27年の年頭に当たり、皆さんの御健勝と御活躍をお祈りしています。

教育界の 転換期を迎えて

静岡県教育委員会委員長 溝口 紀子



平成27年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。いよいよ本年4月から新教育委員会制度がはじまります。新教育委員会制度では新たに「総合教育会議」を議長が設置し、様々な有識者の意見を集約する

ことでは地方創成の潮流のなかで制度が大きく変わる教育界の転換期といつてもいいでしょう。同時に地方の自主性を最大限尊重する「地方分権型」の改革として、教育委員会と首長の教育の方向性を共有することが求められています。新制度下では、教育委員会には文科省や首長に

も教育問題については非力で進言できる「強さ」と「インテリジェンス」がこれまで以上に求められると思います。地方の独自性を出しなが、どう教育の課題を克服するか、政策能力が問われています。

そうした意味では、昨年11月に、学力調査の実施について意見書を文科省に提出したことは、おそらく初めての試みではないかと思えます。このような姿勢が地方の自主性を最大限尊重する地方創生につながっていくものと確信しております。

本年は、教育界にとつて、天動説から地動説へと変化したように思考や概念、規範や価値観が枠組みごと移り変わる、「パラダイムシフト」の年だと思えます。そのような転換期だからこそ現場が混乱しないよう、ブレることなく「有徳の人」づくりを推進していきたいと思えます。

私はいままで、3年半教育委員を務めてまいりましたが、昨年の全国学力・学習状況調査の結果を例にとつても、静岡の子どもは、ポテンシャルが高く、今後、更に力を伸ばせる可能性を秘めていると感じています。これは、教職員にも言えることで、持っている力を十分発揮できる環境づくりをしていく必要があります。

最後は、本年が皆様にとつて実り多い年となるよう祈念し、私からの新年の御挨拶とさせていただきます。

この中で教育行政の目標や方針となる大綱を策定することに なります。

これは地方創成の潮流のなかで制度が大きく変わる教育界の転換期といつてもいいでしょう。

同時に地方の自主性を最大限尊重する「地方分権型」の改革として、教育委員会と首長の教育の方向性を共有することが求められています。

新制度下では、教育委員会には文科省や首長に

も教育問題については非力で進言できる「強さ」と「インテリジェンス」がこれまで以上に求められると思います。

地方の独自性を出しなが、どう教育の課題を克服するか、政策能力が問われています。

そうした意味では、昨年11月に、学力調査の実施について意見書を文科省に提出したことは、おそらく初めての試みではないかと思えます。

この中で教育行政の目標や方針となる大綱を策定することに なります。

これは地方創成の潮流のなかで制度が大きく変わる教育界の転換期といつてもいいでしょう。

同時に地方の自主性を最大限尊重する「地方分権型」の改革として、教育委員会と首長の教育の方向性を共有することが求められています。

新制度下では、教育委員会には文科省や首長に

も教育問題については非力で進言できる「強さ」と「インテリジェンス」がこれまで以上に求められると思います。

地方の独自性を出しなが、どう教育の課題を克服するか、政策能力が問われています。

「静岡県生涯学習情報発信システム」
愛称は「まなぼっと」に決定!


「ふじのくにゆうゆうnet」と「マナビット21」を統合して、新しく生まれ変わった「静岡県生涯学習情報発信システム」の愛称が決定しました! たくさんのお応募ありがとうございました。今後も多くの方に親しまれるよう運営していきます。

■愛称 「まなぼっと」

■選定理由
本愛称からは、自ら学ぼうとする姿勢や「マナビット21」を受け継いでいることが感じられ、生涯学習を呼び掛けるシステムにふさわしい名称である。

■応募総数 167件 ■採用者 静岡県掛川市在住の方

問 県総合教育センター生涯学習推進室 ☎0537(24)9715
※詳細は 静岡県 まなぼっと 検索



防犯キャンパとは:

- ・ 被災時の対応等の理解、学校等を避難所とした生活体験などの防災教育プログラムを実践するキャンプです。
- ・ 県教育委員会では、関係市町の教育委員会、県、市町の危機管理事務局と連携し、防災キャンプを実施しました。

◆体験する

- ・ 居住場所作り
- ・ 非常食体験
- ・ 地震車体験
- ・ 初期消火訓練
- ・ 応急救護体験

◆学ぶ

- ・ 防災講演会
- ・ 防災講座
- ・ 避難所運営ゲーム
- ・ 防災マップ作り

◆活動プログラム

- ・ 山名公民館
- ・ 袋井北公民館
- ・ 浅羽東公民館
- ・ 袋井北公民館
- ・ 山名公民館

防犯キャンパに参加した地域の方の感想です。

- ◆袋井市(3か所) 浅羽東公民館
- ◆袋井北公民館
- ◆山名公民館

◆家庭での防災に関して真剣に考えるきっかけとなった。地域の方子どもたちや地域の防災力が向上した。市町職員

◆大人や子ども、行政や地域が一緒になって考え、協働して避難所生活体験をすることは、有意義。(市町職員)

防犯キャンパに参加した地域の方の感想です。

- ◆袋井市(3か所) 浅羽東公民館
- ◆袋井北公民館
- ◆山名公民館

◆家庭での防災に関して真剣に考えるきっかけとなった。地域の方子どもたちや地域の防災力が向上した。市町職員

◆大人や子ども、行政や地域が一緒になって考え、協働して避難所生活体験をすることは、有意義。(市町職員)

防犯キャンパ推進事業

平成26年度実施場所


- ◆富士宮市(2か所) 貴船小学校
- ◆野中三区公民館
- ◆富士市(1か所) 富士中学校
- ◆森町(1か所) 泉陽中学校
- ◆袋井市(3か所) 浅羽東公民館
- ◆袋井北公民館
- ◆山名公民館

◆参加者の声から

- ◆災害に備え、普段から家族や友達と話し合うことが大切だと感じた。(児童・生徒)
- ◆家庭での防災に関して真剣に考えるきっかけとなった。地域の方子どもたちや地域の防災力が向上した。市町職員
- ◆大人や子ども、行政や地域が一緒になって考え、協働して避難所生活体験をすることは、有意義。(市町職員)

◆振り返る

- ・ レポート作成



消火体験をする中学生(富士市防災キャン)

最近では、通学合宿のメニューとして防災プログラムを取り入れているところも増えていきます。皆さんの地域でも、防災キャンプの取組を進めてみてはいかがでしょうか。

問 社会教育課 ☎0542213123

実践NOTE 289

地域からパワーをもらい、生徒が地域を活性化

文化祭の挑戦、高校生下級グルメ甲子園の継続開催もたらしめたもの

静岡県立三ヶ日高等学校 教諭 木下 幹比呂



筆者(左)

ふるさと(Furusato)の未来(Future)をつくるのが「F級」

「何でもこんなことやらなきゃいけないの？」からのスタート

5年前、文化祭を盛り上げるために、焼きそばや唐揚げを模擬店で売る企画から、地域で生産されたものを使うものを使ってメニューを考え販売する企画に変更しました。模擬店を運営するだけで満足だった生徒たちは、そこに「地域の食材」という条件が加わったことに反発しました。

平成26年11月2日(日)、三ヶ日商店街で開催された高校生下級グルメ甲子園には、県内外からの多くの参加者が集まり、成功裏に幕を閉じました。「F級グルメ甲子園」とは、全国から集まった高校生が地元の食材を使って考案した料理のおいしさを競うもので、今年も東は宮城、福島、西は愛媛、徳島から計20校の高校生たちが参加しました。これは、生徒たちに地域の食材を使ったグルメを販売するビジネスの一連の流れを体験させ、購入者に喜んでいただくことを通じて成功体験を得ることを目的に、平成23年度から三ヶ日高校の生徒が中心となり開催



地域の思いを受け、商店街で開催

本校では、全学年全クラスがF級グルメ甲子園に出場します。6月の文化祭で経験を積み、11月の本番に挑みます。生徒が商品をお客様に手渡しと、多くのお客様が嬉しそうに、「ありがとう、頑

生徒が地域に元気を地域が生徒に元気を



地域との関わりで、絆が生まれる



販売を通じ成功体験を得る

張つてね。おいしかったからまた買いに来たよなど温かい言葉を返してくれます。その一言が生徒に元気を与え、これまでの苦労を一瞬で吹き飛ばし、次への意欲をかき立ててくれます。

自分の町を明るく語る→未来をつくる

自分の住んでいる町を明るく語れる人はどれくらいいるだろうか？この数を増やすことがふるさとへの未来をつくることにつながると考えています。F級グルメ甲子園の運営や販売を通じ、地域の方々との関わりが増え、挨拶等のコミュニケーションが生まれてきました。頑張る大人の姿を見て、温かい地域の協力姿勢を感じ、感動を受けた生徒もいます。ふるさとを明るく紹介できる生徒が増えてきました。

生活単元学習とは

特別支援学級(知的)では、必要に応じて、該当学年の学習指導要領の内容容にとらわれず、特別支援学校の指導要領を参考とした特別な教育課程を組むことができます。その中の指導の一つに、「領域・教科を合わせた指導」があります。この指導は以前から生活単元学習などとして実践されてきています。

「からだずかん」を通して学ぶ

- ①体の各部分の名称
- ②各部の働き
- ③内臓の名称と働き
- ④自分の成長の振り返り
- ⑤健康的な過ごし方
- ⑥快適な過ごし方

子どもたちの学び

この学習では、自分の体という、とても身近な素材を扱ったこともあり、子どもたちはとても意欲的に学習に取り組んでいました。「からだずかん」の学習が予定されていることを知ると、「やったあ！」と歓声があがるほどでした。また、学んできたことをまとめて「からだずかん」をまとめること



栄養素の数をグラフに表す

生活単元学習とは、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実践的・総合的に学習するものです。『特別支援学校学習指導要領解説』より)



学んだ成果を披露(きらめき学習発表会)

実践NOTE 290

自立した生活を意識できる力を目指して

教科を超えた大きな枠組みで取り組む

静岡市立中田小学校 教諭 望月 理恵



筆者

前任の静岡市立西奈南小学校特別支援学級での実践を紹介いたします。

学習をする。校外学習等のバス代を計算する。給食に含まれる栄養素を表とグラフに表す。理科：昆虫の体のつくりと人間の体のつくりを比べる。動物園で動物と人間の生活との相違を知る。学級活動：養護教諭による歯磨き指導、栄養バランスを考えたメニューを作る。



栄養バランスを考えて作った食事メニューの紹介

さらに、各種健康診断や発育測定、動物園への校外学習、運動会や持久走大会などの学校行事をはじめとした様々な行事も学習に関連付けていきました。

「先生が外で遊びなさいって言うのは、体が丈夫になつてほしいからだよね」と自主的に運動場へ出て体を動かすようになったり、食事中に栄養素の話題を出してきたりと、「自立した生活を意識していく力」が養われま

- 見学可能日 月・金曜日(祝日等閉庁日は除く)
- 見学時間(次の時間の中で60分又は90分)
 - ①10時・正午
 - ②13時30分・15時30分
- 対象 小学4年生以上のグループ(1グループ10・30人程度)
- ※個人向けの見学としては、8月に親子県庁見学を、10月に個人県庁見学会(大人を対象)を実施しています。
- 見学場所
 - ①2・3か所を選択
 - ②県議会本会議場
 - ③危機管理センター
 - ④県警察本部通信指令室
 - ⑤警察広報センター
- 申込み 見学希望日の3週間前までに申込み、来月下旬から受付。



県議会本会議場も見学できます

実学を学ぶ静岡県の高校生 vol.4 確かな信頼でひと・ものを つなぐ商業教育!

ビジネスパーソンを 育成する商業関係 高校!

に直結した知識と技術を習得しています。経済社会の健全で持続的な発展を担うビジネスパーソン(職業人)の育成が商業関係高校の目標です。

学校テパトでの実践

商業関係高校には、仕入計画から販売、決算処理まで、全ての取引を行うことにより、実際のビジネスを疑似体験できる取組を行っている学校もあります。

商業関係高校では、ビジネスの意義や役割について、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を身に付けることと、資格取得等にとともに、実際のビジネスを組み、実践のビジネス

【袋商シヨップ】
県立袋井商業高校は、全校生徒が教育活動で身に付けた知識やマナーを



地域の方に大人気の袋商シヨップ

「第7回国際オペラコンクール」鳴原さん栄冠

3年に1度開催される若きオペラ歌手の登竜門「静岡国際オペラコンクール」が11月8日から9日間にわたり、アクティビティ浜松で開催されました。第1次予選では、総勢48人の若きオペラ歌手たちが各々得意なオペラアリア2曲を披露し、第2次予選に進んだのは18人。オペラ作品の一役を演じる第2次予選では、発声技術や表現力はもとより経験も問われる難易度の高い審査に、出場者はバラの花や手紙などの小道具を手に、劇中の人物を情感豊かに演じて臨みました。この難関を突破し、本選への切符をつかんだファイナリスト6人が最終舞台上に挑みました。



左からユン・キフンさん、鳴原奈美さん、アナスタシア・コージュハロバさん

見事第1位の栄冠に輝いたのは、鳴原奈美さん(日本/ソプラノ)。「これまで自分が信じてやってきたことが形になりとても嬉しい。多くの方にまた聴きたいと思っていたので、さらに研鑽をつみたい」と語っていました。2位はユン・キフンさん(韓国/バリトン)、3位はアナスタシア・コージュハロバさん(カザフスタン/ソプラノ)でした。

コンクールに引き続き、静岡と東京で開かれた入賞者記念コンサートでは、温かな雰囲気の中、入賞者たちの歌声は一段とのびやかに響き、多くの観客を魅了しました。可能性溢れる若きオペラ歌手たちの今後の活躍がとて楽しみます。【県文化政策課】

子ども・若者育成支援強調月間静岡県大会報告 ～今、大人の私たちにできること～

11月14日(金)、藤枝市の生涯学習センターにおいて「子ども・若者育成支援強調月間大会」が開催されました。大会では、学校の委員会や部活動の域を越え、長年地域のためにボランティア活動を続けている青少年団体、青少年の健全育成のために率先して街頭指導を行っている指導者等が表彰され、参加者から惜しみない拍手が贈られました。



表彰式の様子

昨年度より「地域の青少年声掛け運動アンバサダー」として御協力いただいている女優の藤田弓子さんによる講演では、「子どもを育てることで大人も育つ～静岡県への恩返し～」と題し、「三つのとぎめ言葉『感謝の言葉』『褒め言葉』『愛の言葉』を上手に使って、一人一人が育ち続けてください」と、応援の言葉をいただきました。

アトラクションでは、地元の藤枝市立藤枝中学校の生徒が、思いのこもった楽器演奏と合唱を披露し、会場は感動に包まれ、大会を盛り上げてくれました。

県大会の様子は、社会教育課のホームページでも紹介しています。【社会教育課】

「青少年育成会議顕彰」被表彰者・団体(敬称略・順不同)

- | | |
|--|--|
| <p>〈青少年の部〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷下 美風(島田市) ・稲崎 晴也(島田市) ・猪越 香澄(沼津市) <p>〈青少年指導者の部〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加納 永子(富士宮市) ・鈴木 和江(熱海市) ・森主 茂(静岡市) ・田中 祐一(浜松市) ・下村 昌久(藤枝市) | <p>〈青少年の団体の部〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県立稲取高等学校 ボランティア部 ・富士宮市立富士宮第二中学校 生徒会 ・静岡県立磐田農業高等学校 生産科学科 ・浜松市立伊田小学校 ・浜松市立都田小学校 放歌踊り倶楽部 ・袋井市立浅羽北小学校 JRC ・静岡県立天竜高等学校 春野校舎 ボランティア部 ・富士宮市立富士根南中学校 伝統文化研究部 ・浜松市立三方原中学校 ボランティア研究部 ・磐田市立青城小学校 ボランティア委員会 ・静岡県立熱海高等学校 ボランティア部 <p>〈青少年指導者団体の部〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・垂山南小学校 下校付添いボランティア |
|--|--|

売活動を行っています。【沼原屋(マシヨップ)】
県立沼津商業高校では、大型商業施設の一面を借りて、2日間の販売実習を開催しています。

【吉商本舗】
富士市立立高校(旧吉原商業高校)は、吉原商店街に常設の「チャレンジシヨップ吉商本舗」をオープンし、店舗経営・販売力を発揮する場です。

【検定試験 資格取得】
商業関係高校では、税理士や情報技術者、秘書、日本商工会議所の簿記や販売士など各種団体の試験に挑戦し、職業資格を取得しています。また、全国商業高等学校協会主催の検定試験には、珠算、電卓簿記、情報処理、商業経済等があり、商業を学ぶ生徒は必ず受験し、学ぶ中には全9種目1級【高校教育課】

【研究発表】
生徒商業研究発表大会は、生徒商業研究発表会は、商業の学習、研究体験等を通して身に付けた問題解決能力や、研究成果の発表により養われた表現力やコミュニケーション能力を各々が発揮する場です。

【高大連携の取組】
県教育委員会は、本年度から、大学で専門教育に関する講義を受け、研究活動を体験する「高校生アカデミックチャレンジ事業」を実施しています。本年度、商業分野に参加した生徒は、静岡県立大学経営情報学部において、マーケティングやプログラミングなどを学びました。

【高大連携の取組】
県教育委員会は、本年度から、大学で専門教育に関する講義を受け、研究活動を体験する「高校生アカデミックチャレンジ事業」を実施しています。本年度、商業分野に参加した生徒は、静岡県立大学経営情報学部において、マーケティングやプログラミングなどを学びました。

【高大連携の取組】
県教育委員会は、本年度から、大学で専門教育に関する講義を受け、研究活動を体験する「高校生アカデミックチャレンジ事業」を実施しています。本年度、商業分野に参加した生徒は、静岡県立大学経営情報学部において、マーケティングやプログラミングなどを学びました。

【高大連携の取組】
県教育委員会は、本年度から、大学で専門教育に関する講義を受け、研究活動を体験する「高校生アカデミックチャレンジ事業」を実施しています。本年度、商業分野に参加した生徒は、静岡県立大学経営情報学部において、マーケティングやプログラミングなどを学びました。

【高大連携の取組】
県教育委員会は、本年度から、大学で専門教育に関する講義を受け、研究活動を体験する「高校生アカデミックチャレンジ事業」を実施しています。本年度、商業分野に参加した生徒は、静岡県立大学経営情報学部において、マーケティングやプログラミングなどを学びました。

“ふじのくに”の未来を創る 環境学習フェスティバル開催中

開催期間
1/1～2/28

静岡県は、環境学習への参加機運を高めるとともに、地域に根差した環境学習機会の充実を図ることを目的として、1月から2月にかけて、「環境フェスティバル」を開催しています。

本フェスティバルでは、県内各地で博物館や科学館、NPOや企業等の46の団体が環境分野の多様な92の行事を実施します。子どもたちはもちろん、先生方も地域の環境について楽しみながら学ぶことができます。この冬は是非、環境学習フェスティバルへ参加してみませんか?

各地域で行われる学習会の詳細は、「環境学習フェスティバルの広報紙(12月に各幼稚園、小中学校、高校等へ配布しました)又は県ホームページ「環境学習データバンク」を御覧ください。

問 県環境ふれあい課 電話054(221)2919



環境学習フェスティバル 広報紙表紙

健康豆知識 禁煙で病気を遠ざけましょう

国民の健康の観点からたばこ税の引き上げが検討されています。これを機に、禁煙を始めてみませんか。

◆禁煙したその直後から健康に効果あり

喫煙はがん・脳血管疾患・心疾患・呼吸器疾患・糖尿病・周産期の異常など、様々な健康被害を引き起こします。また、喫煙してなくても、たばこの煙を吸うことにより、同様の健康被害をもたらします。特に子どもは被害を受けやすく、喘息や呼吸器感染症、突然死の原因とも言われています。

禁煙すると、その直後から病気が遠ざかります。1分後にはたばこのダメージから回復しようとする機能が働き始め、24時間後には心臓発作の確率が減ります。2～3週間後には肺活量が30%回復します。肺がんになる確率は5年で半減し、10年経てば細胞が修復され、咽頭や食道などの癌になる確率も減ります。

◆禁煙により充実した生活を

禁煙が難しい理由の一つはニコチン依存性です。「ストレス解消のための喫煙」と言われがちですが、実は喫煙でニコチン切れのストレスを緩和しているのです。禁煙の苦しさを軽減するため、禁煙外来や禁煙マラソンの支援(※)を受けることもお勧めです。禁煙すれば、時間もお金も節約になり、その分趣味や旅行など、余暇を充実させることもできます。あなたも是非、禁煙にチャレンジしてみてください。

※禁煙のプログラムの一種。参照：HP <http://kinen-marathon.jp/>



【福利課】

